

様式第3（第7条関係）



※受理年月日	RA 年 9 月 16 日
※受理番号	RA-35
※備考	

変更届出書

令和8年9月11日

鹿児島県知事 殿

株式会社九州ケーズデンキ
代表取締役 杉本正彦
茨城県水戸市城南二丁目7番5号

大規模小売店舗立地法第6条第2項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

名 称 ケーズデンキ霧島店
所在地 霧島市隼人町真孝字鶴牟田489番1

2 変更する事項

(1) 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

①駐車場の収容台数

【変更前】

駐車場の名称	収容台数	位 置
第1駐車場	190 台	建物1階
合 計	190 台	

【変更後】

駐車場の名称	収容台数	位 置
第1駐車場	180 台	建物1階
合 計	180 台	

※車椅子使用者用駐車施設の駐車台数は減少しない。

3 変更する年月日

令和9年5月12日

4 変更する理由

駐車場内の利便性を向上させるため。車路通路の変更をおこなうものです。

〔設置者、建物等の概要〕

1 変更の趣旨

平素よりの御高配に御礼申し上げます。

株式会社九州ケーズデンキは家電販売の営業を通じて、地域の皆様により良い生活文化の提案をおこなう事を使命として営業展開をおこなっております。

この度、弊社霧島店におきまして、利用されるお客様の安全性の向上を目的として、駐車場の利用形態の変更をおこなう事といたしました。

変更にあたりましては本店立地法の定める生活環境の保持の観点から厳守し計画を進めております。

何卒、弊社の意をご理解いただき、今後共ご厚情いただきますようお願い申し上げます。

2 大規模小売店舗設置者の連絡先等

(1) 設置者の連絡先及び電話番号・FAX番号

(設置者)

株式会社九州ケーズデンキ

代表取締役 杉本正彦

茨城県水戸市城南二丁目7番5号

(届出責任者)

株式会社九州ケーズデンキ

担当者 開発部 大川内清弥

鹿児島県薩摩川内市神田町10番12号

電話番号 099-263-5851

FAX 099-263-5852

(2) ① 周辺の生活環境保持の対応策の小売業者等への周知措置

設備及び運用面に関して、ケーズデンキ霧島店店長に対し周知し、また、店長を通じて同店従業員及び取引業者(搬入、廃棄物回収業者)等に対しても同様に周知を図ります。

② 周辺の生活環境保持のための監督・管理責任者

同店店長

(転勤等により変更がある為、同店長がその責を負う)

3 法人にあっては登記事項証明書、個人にあっては住民票の写し

別添 登記事項証明書 参照

4 小売業者一覧

	小売業者名	店舗面積	業種・業態	主として販売する物品
核となる小売業者	株式会社九州 ケーズデンキ	4,150㎡	家電量販店	電化、OA機器、携帯電話

5 建物の位置及びその建物内の小売業者を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

- (1) 広域地図 別添図 (1) 参照
- (2) 付近見取図 別添図 (2) 参照
- (3) 全体配置図 変更前 別添図 参照
- (4) 全体配置図 変更後 別添図 参照

6 店舗施設計画の概要

(1) 計画地の概要

① 敷地面積及び土地の所有形態

建物・駐車場敷地	8,265 m ²	事業用借地
合 計	8,265 m ²	

② 法令上の用途等 非線引き都市計画区域内、白地地域

③ 現在の利用状況 ケーズデンキ霧島店として営業中

(2) 開店若しくは施設変更等の届出時に対応策の前提として調査・予測した結果と大きく乖離があり、対応が著しく不十分である場合の追加対応方針

予測結果と実態に乖離があり対応が著しく不十分であった場合、関係機関と協議の上、可能な対策を検討します。

7 その他（特記事項）

特に無し

[駐車需要の充足等]

1 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

(1) 指針による必要駐車台数計算式

(端数処理：小数点以下四捨五入)

事項等		各事項算出のための計算式等
地区の区分	その他区分	(理由：用途地域外)
S：店舗面積	4.150 千㎡	
A：店舗面積当たり 日来店客数原単位	975.50 人/千㎡	地区の区分： その他区分 人口（人）： 人口40万人未満 計算式： 950 (S ≥ 5)
B：ピーク率	14.4 %	
L：駅からの距離	- m	その他区分のため、省略します。
C：自動車分担率	70 %	地区の区分： その他区分 人口（人）： 人口10万人未満
D：平均乗車人員	2.00 人/台	店舗面積： 10,000㎡未満
E：平均駐車時間係数	0.880417	店舗面積： 10,000㎡未満 計算式： (30+5.5×S) ÷ 60
必要駐車台数	180 台	$A \times S \times B \times C \div D \times E$
日来店台数	1417 台	$A \times S \times C \div D$
ピーク1時間当たりの来台数	204 台	$A \times S \times B \times C \div D$

(2) 特別な事情による駐車台数の算出

該当しないため省略します。

(3) 駐車場の分散確保の有無

駐車場の分散確保の有無	理 由 等
無	敷地内に必要駐車台数が確保できている為

(4) その他の駐車場の状況

[従業員等(業務用を含む)駐車場]

事 項	有無の別	当該小売店舗駐車場と共用・別途の別	収容台数	備考
従業員等駐車場	無	共用	10 台	駐車場に十分なスペースが確保できている為

※参考資料1のとおり

2 駐車場の構造、収容台数、面積及び敷地の状況（小売店舗、併設施設等を含む全体の収容台数）

No.	駐車場の構造	収容台数		面積	駐車区画の大きさ	
		一般用	身障者用		一般用	身障者用
1	建物内平面駐車場（自走式）	178 台	2 台	2260.0 m ²	2.5m×5.0m	3.5m×5.0m
合 計		178 台	2 台	2260.0 m ²		

駐車料金の徴収の有無	駐車場条例による届出 駐車場とする予定の有無	入口ゲートの 入庫処理時間	※契約形態
無	無	-	賃貸契約

3 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

(1) 駐車場の自動車の出入口の形式

① 駐車場の入庫処理能力

自走式で発券ブースの無い駐車場のため、省略。

② 敷地内駐車待ちスペース

別添図（6）

出入口の場所	駐車待ちスペースの有無	実際に用意する駐車待ちスペース	発券ブースの有無	必要な待ちスペース		
				長さ	算出根拠等 $(B \times 1.6 - A) \times 6$	
					当該入口の1分当り 入庫処理能力 (A)	当該入口の1分当り 来台数 (B)
入口 (A)	無	- m	無	- m	- 台	- 台
出口 (B)	無	- m	無	- m	- 台	- 台
駐車待ちスペース「無」の場合	その理由・対策	来店車数の多い場合は、必要に応じて整理員を配置し、スムーズな誘導に配慮します。				

(2) 敷地周辺の道路の状況（別添図（2）参照）

項目	道路No. 1 県道隼人港線
道路幅員 (車線数)	8.6 m 片側1車線
歩道の有無・幅員	店舗側のみ有 (5.1m)
交通規制	駐車禁止 Uターン禁止
信号交差点数 (うち右折帯設置の交差点数)	1 交差点 1 交差点
横断歩道等の状況	1ヶ所
通学路の有無 利用者数	無 0 名
バス路線の有無	無

(3) 来客の自動車の方向別台数の予測の結果等

現在も営業中の店舗であり、今回の変更による来店台数の変化は無いと予測できるため省略。

(4) 集客力の高い併設施設の交通量の予測

併設施設が無いため、省略。